

神戸市教職員組合 栄養教員部との交渉議事録

1. 日 時：令和4年12月8日（木）18：00～18：30

2. 場 所：教育委員会会議室

3. 出席者：

（市）学校環境整備課長、健康教育課長、健康教育課小学校給食係長、  
教職員課長、教職員課労務制度担当係長、他1名

（組合）書記長、書記次長、他3名

4. 議 題：2023年度 教育環境整備・労働条件改善に関する要求書の提出について

5. 発言内容：

（組） 項目5について、発言させていただきます。日々、給食室で給食を作らせていただいておりますが、老朽化により、安全に作ることが難しいと思っているところがあります。神戸市学校給食衛生基準が令和3年3月に改訂されて、HACCPの考え方に基づいて給食調理をするように求められています。給食の安全性を確保するためには、施設の修理・改善が必要な部分が多く見受けられます。給食調理場を知る専門的な衛生基準で安全点検を行い、衛生基準に満たない給食施設の改善・修理を積極的にお願ひしたいです。現場の声を聞いていただき、より安全な調理ができるよう願ひします。

また、最近、改築をする学校から給食調理場がなくなっているという現状を聞きま  
す。給食を作っている人の顔が見えて、4時間目の終わりにはいい匂いがするなど、  
五感を育むことができるのも、単独調理校の魅力ある食育の1つだと思いますので、  
よろしく願ひします。

（市） 給食室の老朽化については、皆様方に御迷惑をおかけしている点もあるかと思いま  
す。現状といたしましては、建築物につきまして、有資格者による法定点検や点検業  
者による専門的な観点からの技術的な判断での安全点検を年3回実施しています。  
また、今年度から包括管理事業も始まり、給食室だけではありませんが、学校全般に  
おいて、概ね2か月に1回ぐらいは巡回訪問として、困ったことはないかお話を聞か  
せていただいています。包括管理センターに御連絡いただいた際にも、特に緊急でな  
いものについては巡回訪問でお邪魔させていただいたときに詳しくお話を聞きし、  
学校施設全般においても、これまで以上に、きめ細やかに対応していきたいと考えて  
います。

そういった点検や、御連絡をいただいた不具合につきましては、特に危険な場所につ  
いても重点的に、早急に補修等の対応を行っていますので、引き続き対応してい  
きたいと考えています。先ほど御指摘のありました点につきましても、健康教育課とも  
十分連携を図って、必要な対応については前向きに取り組んでいきたいと考えてい  
ますので、今後とも御理解と御協力のほど、よろしく願ひします。

（組） ありがとうございます。各校の給食運営は、ほんとに多くの職員の協力のうえに  
成り立っています。給食業務委託が増えていく中で、給食に関わる全ての人が安心・

安全に働くため、調理場の充実は必須だと思います。先ほど課長からお話がありましたが、健康教育課と学校環境整備が連携、協力していただきながら、調理場の様子等も気にかけていただき、より充実したものになるように御協力をお願いしたいです。

(組) 続きまして、健康教育課への発言に移らせていただきます。

(組) 項目2について、発言させていただきます。栄養教諭は特に中学校給食の全員喫食について高い関心を持っています。中学校給食センターの整備計画を見ると、中学生の給食管理や食指導に関わることになるのではないかと予想ができているから、みな高い関心を持っています。

私たちは、今まで小学校と中学校の給食は切り離して考えてきました。ランチボックス形式で実施しているため、これまで関わることはなかったですが、全員喫食になることで給食センターができること、それから数年後には垂水共同調理場が給食センターに吸収されること、親子給食のために給食室の配置の変更を検討している学校や、現在の児童数を超える規模の給食室ができる新設校など、たくさんの動きがある中で、今後の情報が十分に伝わっておらず、とても不安があります。

また、アレルギー対応や給食指導など、今後、中学校の先生方が行うことになる業務についても、中学校側がどの程度理解していただいているのか等、気になる点が多くあります。そこで中学校給食全員喫食に向けて、今後の予定の詳細などを示していただけると、とてもありがたいです。現場もイメージがしやすくなると考えています。私たち栄養教員部は中学校給食全員喫食が混乱なくスムーズに行われるよう、教育委員会事務局と一緒に考えて、協力させていただきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(市) まず、おっしゃっていただいたスケジュールについてです。中学校給食の全員喫食に向けて、まず垂水区に建設を予定している第一学校給食センターについては、当初のスケジュールどおり、令和7年1月の供用開始を目指して手続きを進めています。こちらは、配送の対象校が主に須磨区と垂水区になります。食数で言えば約9,000食になります。

また、途中で計画が変更になった神戸市第二学校給食センターについては、先月、市民の皆さんに向けてパブリックコメントを行い、ご意見を踏まえて、今後、議会承認をいただき、予定では令和7年度中、令和8年1月頃の供用開始を目指しています。このように、途中で計画を変更していますので、約1年程度、遅れが見込まれています。

2つの大規模センターを整備することになりますが、これだけでは中学校全員、3万7,000食を賄えませんので、民間デリバリー方式や、補完的に親子調理方式などの検討を進めています。具体的な移行時期については、これから算出しますが、2つのセンターの開始時期にとらわれず、できるところから順次進めていきたいと考えています。

お話にもありましたが、これまで学校現場の栄養教諭の皆さんには、小学校給食を中心に携わっていただいています。先ほど説明させていただきましたように、中学校

給食の全員喫食に向けて、特にこれから大規模センターを2か所、整備していきますので、これからは中学校給食の献立作成、現にランチボックスの献立も健康教育課の栄養教諭が中心となって考えていますが、そういった献立作成や食指導にも御対応いただくことになると思います。

ただ、この全員喫食の導入におきましては、何よりもまず中学校現場に御理解と御協力をいただくことが非常に重要だと考えていますので、昨年度から今年度にかけて、健康教育課の元中学校長籍の係長級と栄養教諭が82校全てを訪問し、養護教員だけでなく、特に担任の先生にこれから担っていただくことになるアレルギー対応の概要や、学校全体で考えていただくことになる食指導、食数管理も含めて、主に校長先生に説明させていただいています。

一通り全校を回らせていただきましたが、次年度以降につきましても、各校に御理解と御協力をいただけるよう、また、御不安な点やお困り事がないように、引き続き丁寧に説明させていただきたいと考えています。

また、小学校でも、現在、アレルギー対応をきっちり学校でやっていただいていますので、マニュアルの整理等も含めて、形にできるものは形にしながら、学校へ丁寧に説明させていただきたいと考えています。

おっしゃっていただいたように、栄養教諭の皆様方と意見を出し合いながら協力して、着実かつ丁寧に事業を進めていきたいと考えていますので、よろしく願います。

(組) 私たちは、特に献立のことについて不安が大きくなっています。小学校の献立は様々な条件を満たしながら作成をしています。時間もかけて作成して下さっています。小学校と中学校の給食を1つの施設で作るということになると、献立の内容はどうなるのか、また、両方のいいところが、一緒になってしまうと、無くなってしまいう部分もあるのではないかと不安に思っている方もたくさんいらっしゃいます。

また、小学校と中学校の栄養価の差は、どのように調整していくのか、献立1つにしても、いろいろな点で皆さん心配をしていますので、教えていただきたいです。今までは神戸市の小学生、それから、中学生は食べていけばみんなが同じ献立を食べていたことになりましたが、様々な形態ができることで、同じ献立が食べられなくなるのではないかと考えています。それがいい方向に進めばいいですが、これは私たちの問題だけではなく、給食を食べる子供たちにとっても重要なことだと思いますので、丁寧に検討していただきたいと思います。

(市) 献立についてですが、今の計画では第二学校給食センターで、垂水共同調理場の受配校分の4,000食を取り込む案になっています。ただ、主食も含めまして、今後、小学校、中学校の献立を一緒にするのか、分けるのかは、具体的には決まっています。私たちも、いろいろと検討しながら、慎重に進めていきたいと考えています。

いずれにしましても、小学生、中学生が必要なエネルギーや栄養価をきっちりと確保できるよう、慎重に検討していきたいと考えていますので、お知恵をお借りしながら、御意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

- (組) よろしくをお願いします。
- (組) 項目4について発言します。今年度、補正予算により学校給食への支援をしていただき、ありがとうございました。子供たちも大変喜んでいますが、しかしながら、コロナ禍以前よりも予算が厳しく、さらにコロナ禍で物価高騰が影響して献立立案に支障が出ています。予算内で考えると、栄養価を満たす高価な献立の使用ができず、安価な献立を使用するしかないということで、年に何度も同じ献立が出ている現状があります。子供たちの健康維持や多様な給食の楽しみを安定して提供できるよう、継続的な予算の補填を進言されるように要望させていただきます。
- (市) 新型コロナウイルスの影響や、ウクライナの社会情勢が非常に長期化している中で、10月にも非常にたくさんの食品が値上がりしています。こういった背景を踏まえ、6月と10月に補正予算をつけていただき、献立については、比較的苦労することなく、栄養価を保ちながら、楽しみにつながるような献立が立案できているのではないかと考えています。来年の2月には、たくさんの食品が大幅に値上がりすることも報道されています。食材価格の変動に引き続き注視しながら、社会情勢を踏まえて、必要な対応を取っていきたいと考えています。
- 令和5年度は、まだ学校で給食費を扱っていただきますが、令和6年度以降は小学校と特別支援学校の給食費は公会計化となりますので、そういったところでも安定的に予算を確保できるようにつなげていきたいと考えています。
- (組) ありがとうございます。価格改定がいいのか、補填をしていただくのがいいのか、私たちには分かりませんが、給食価格の見直しは3年に一度行うことになっていて、2017年4月から260円に改定されましたが、令和元年度の学校給食会の会議の記録を見ると、改定の必要はないと判断されていました。しかしながら、社会情勢の変化に応じて、3年が経過していなくても検証を行っていただき、必要があれば見直しを行ってほしいと思います。価格変動が大きいものやデザートなどの回数も充実させていきたいと思いますので、260円の金額を改定する、見直し機会がきているのではないかと思います。補填と合わせて給食価格の改定も検討していただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いします。
- (市) 社会情勢を踏まええると、市民の皆さんの生活も非常に苦しくなっていると想像できますので、現時点で直ちに給食費を改定することは難しいと考えています。ただ、長らく価格を据え置いていますので、いずれかの時点では見直しも視野に入れて、議論しながら考えていきたいと思います。
- (組) 260円に上がる時も、何年もかけて上げていただいた経緯がありますので、準備もしていただきながらということで、よろしくお願いします。
- (組) 項目7について発言します。食物アレルギー対応に関しては、安全が第一だと考えています。献立表の記載方法を統一していただき、献立表が変わったことで、保護者の方も記入しやすく、こちらもチェックしやすくなり、分かりやすくなったと思います。ありがとうございます。

ただ、実際の現場では、保護者の方の見落としがあります。こちらから、もう一度

返して、これは大丈夫ですか、と確認することがよくあります。また、ヒヤリハットなどが、教室で提供時の配膳ミスなどがあります。ヒヤリハットの事例は報告を出していると思いますので、その事例集を現場にも共有していただきたいです。今後も安全な給食が提供できるよう、今は、卵除去だけですが、学校での対応が変わることがあれば、現場の意見をしっかりと聞いていただき、安全に対応できるよう、慎重な対応をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

- (市) 御指摘いただいたように、ヒヤリハット事例の現場への共有が令和2、3年度はできていなかったようで、大変申し訳ございませんでした。令和3年度分につきましては、今年度の令和4年度分と合わせまして、次年度早々に共有させていただく予定で進めています。大変申し訳ないことですが、ボリュームが多くなってしまいますが、お目通しいただければと思います。

アレルギーへの対応につきましては、私たちも日頃から現場といろいろと共有させていただき、学校保健係にも養護教諭が在籍していますので、ヒヤリハット事案は課内全体でも共有しています。他都市の事例をみても、怖いものだという事は常に意識を持っていますので、アレルギー対応品目の拡充を行うこと等があれば、現場の御意見もお聞きして、慎重に判断してまいりたいと思います。

- (組) ありがとうございます。先ほど申しましたように、栄養教諭は、中学校給食の全員喫食について高い関心を持っている一方で、中学校現場では、まだ話題に上がっていないという印象があります。先ほど課長から、事務局から中学校に働きかけていただいているところもお伺いできましたが、校長先生に説明いただき、そこからもう一歩進んで現場への周知が大切だと思います。中学校の先生がどのように受け取るか、そこからどのように議論するのかを見据えて考えていただけると、ありがたいです。現場と事務局が一緒になって、協力しながら進めていけたらと考えています。よろしくお願いします。

- (組) 教職員課に移らせていただきます。よろしくお願いします。

- (組) 項目3について発言させていただきます。今年度、教員採用試験において栄養教諭5名の採用ということで、毎年、正規職員が減る中で明るいニュースとなりました。また、先読み加配を今年度は3人つけていただき、大きな混乱もなく職務を行うことができて、大変ありがたく思っています。

来年度より、未配置校への食育推進事業として、3年生に加えて4年生にも食指導を行うことが決まっています。現在、センター校では、さらに1年生に指導を行っているところです。栄養教諭にとって食指導を広めていくということは、とても大切なことです。栄養教諭が全校配置されていない状況の中で、現在、未配置校と配置校の間に食育推進の課題があると考えています。栄養教諭が配置されていないところで、栄養教諭の職務について全く知らない職員もたくさんいますので、私たち、栄養教諭は食指導をより前向きに職務を推進したいと考えています。

専門性を生かした職務を充実する反面、削減されていく職務がなければ、多忙化が進むだけです。より専門性を生かした仕事に重きを置けるようにするため、栄養教諭

の職務について管理職へ周知していただき、管理職から現場の職員へ、栄養教諭の職務について、より理解を深めていただきたいと考えています。よろしくお願いします。

(市) 御指摘いただきましたとおり、栄養教諭の皆様方の多忙化解消の手立てとしましては、全校配置というのが根本的な解決策であるということ私どもも承知していますが、予算の制約もありますので、正直に申し上げて、現実的には厳しい状況にあります。

その一方で、より専門性を生かした仕事に動きを置けるような職務の精選や、管理職、現場の教職員への周知という点につきましては、令和の時代における学校の業務と活動において周知させていただいたところです。その中で、今年度から学校運営に当たって、栄養教諭の皆様方の役割や職務の明確化をさせていただき、併せて、その内容を全学校園へ周知をさせていただきました。

それぞれの栄養教諭が真に必要な業務に専念できるように、私どもとしましては、多忙化解消に向けた取組を推進していくとともに、引き続き校長のリーダーシップの下、教職員それぞれが経験、能力、そこに専門性を最大限発揮していただき、学校が組織的に運用できるように、私どもの立場からも促してまいりたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いします。

(組) 私たちは、年代がどんどん上がってきていて、若い20代、30代が少なくなっており、その辺りも危惧していますので、その対応もお願いいたします。

(組) 回答の中には全校配置は厳しい状況にあるということをお伺いしましたが、栄養教諭の多忙化解消に向けた一番根本的な解決策であると思いますので、強く要望いたします。栄養教諭だけでなく、栄養教諭が配置されていない学校の教職員も栄養教諭の配置を望んでいることもお知りおきください。その手立てとして、来年度の新規採用者、正規職員の計画的な増員についても希望しています。先ほども仰っていただきましたが、教職員課としても、学校現場だけでなく神戸市全体の食指導推進や給食管理業務のため働いている栄養教諭の必要性について、様々なところで訴えていただくよう、よろしくお願いします。

また、中学校給食の全員喫食への移行にあたっては、栄養教諭より全員喫食移行後の職務についても現在、高い関心が寄せられています。5月にも申入れをさせていただいたように、全員喫食への移行の際に、栄養教諭が関わる場面が恐らく出てくると予想されますので、事前の情報共有と協議を行っていただくように要望いたします。よろしくお願いいたします。